

Y I A 会員だより 2025 年 1 月号

発行；吉野川市国際交流協会・広報部(Tel22-2271,Fax22-2270)

第 241 号 ホームページ URL <https://yia2020.net/>



【1月以降の活動予定他】

◎もちつき大会（西麻植青年会館）

日時：1月19日（日）8:00～

場所：西麻植青年会館

◎第10回理事会

日時：1月25日（土）15:00～

場所：文化研修センター

◎外国人お遍路ガイド

日時：第16回 1月6日（月）10:00～

第17回 1月25日（土）13:00～

◎「多文化共生交流会～知り合おう、ふれあおう、認めあおう～」

日時：3月2日（日）13:30～16:00

会場：文化研修センター多目的ホール（東側）

◆年頭のご挨拶

瀬尾 規子

一昨年5月に萩森前会長から会長を引き継ぎ、2年目を迎えました。2024年10月5日に開催された吉野川市制20周年記念式典において、国際交流協会の功績に対して萩森前会長が表彰されたことを嬉しく思います。日本語教室の運営始め様々なイベントに尽力された活動の軌跡は機関誌21号の特集記事として掲載する予定です。



さて、2024年度のあらたな取組みとして、田村副会長をリーダーとして「お遍路ボランティアガイド講座」を開催しています。毎月2回、英語版のお遍路ガイドの読み合わせを行い、お遍路文化を学ぶとともにインバウンドのガイドに向けて知識を深めています。札所巡りも好評です。また、地域のALT（英語指導助手）や英語圏のゲストを招いて、世界を旅する講座としてグローバルセミナーも開催しています。コロナや円安で海外旅行が難しくなりましたが、国内で国際交流を身近に体験できる場を市民の皆様を提供していきたいと思っております。今年もよろしくお願いいたします。

◆第6回グローバルセミナー「アメリカ・ウィスコンシン州あれこれ」

瀬尾 規子

11月30日に、第6回グローバルセミナー「アメリカ・ウィスコンシン州あれこれ」を開催しました。講師は、9月から吉野川市のALT（英語指導助手）として、鴨島第一中学校と知恵島小学校で勤務しているアンドリュー・キムさんでした。アンドリューさんの

ご両親は韓国出身で、父親が仕事でウィスコンシン州



に移住しました。ウィスコンシン州はミルウォーキーが一番大きな街で、美しい街ですが冬は-60℃にもなるそうです。アンドリューさんは両親と一緒にたびたび韓国を訪問しています。

韓国のお話もしていただき

ました。故郷は田舎なので、徳島が気に入っているそうです。韓国は兵役があるのでアメリカ国籍を取っています。大学では「英語」を専攻し、「日本語」を副専攻し3年間学びました。小説を書くのが得意で、日本文学では源氏物語に関心があるそうです。講演の後、得意なヴァイオリンでヴィバルディーの曲を演奏してくれました。上手な演奏で、聞き惚れました。



◆山川日本語教室の忘年会

三原 敦子

12月22日、山川教室の忘年会をカンボジア、ベトナム、中国の7人の実習生と日本人5人の計12人で開催しました。それぞれが持ち寄ったお菓子やお茶を

頂きながら、今年の良かったこと、悪かったこと、来年したいことを全員で発表しました。



実習生たちの今年の楽しかったことは、「日本に来たこと」、「買い物で沢山したこと」、「日本語教室が楽しかったこと」。悪かったことは「無い」、「やはり日本語が難しい」。来年の抱負は「日本語勉強を頑張る」、「残業をしたい」、「楽しみたい」でした。そしてビンゴゲーム、吉野川市カルタをし、大いに盛り上がりました。年末で仕事が忙しく参加できない人たちもいましたが、今関さんのホームメイドパンを頂き、最後に「年末年始、体に気をつけて頑張りましょう」とお互い挨拶をしあい、来年が充実した年になることを祈りながら、会を閉じました。



◆鴨島日本語教室の忘年会 萩森 健治

12月22日午後、鴨島教室の忘年会を受講生8人、同伴子ども3人、講師5人で開催。始めに恒例の「今年の日本語教室の活動」について、もちつき大会、スピーチコンテスト、阿波踊り、バスツアーなどの様子をスライドで紹介。その後、飲み物とお菓子を食しながら、みなさんが、名前、出身国、仕事、日本の感想、趣味や好きな食べ物などを紹介し歓談。パキスタンのアジズき



ん家族はずっと日本に住みたいとのこと。ベトナムの三木ハンさんは来日して14年、通訳を目指しています。インドネシアの介護のフィンカさん、配管工事のナラヤナ君、マハウィラ君は来日後5～6か月ですが、上手な日本語で自己紹介。ネパールのプラディーブ君は今や受講生のリーダー的存在です。記念撮影して納会しました。

◆日本語教室元受講生タムさんの近況 萩森 健治

以前に日本語教室で勉強していたタムさんは、2年前にベトナムに帰国し元気に暮らしています。

タムさんは2017年7月に来日し、鴨島町の縫製会社で5年間技能実習生として働いていました。その間、日本語教室には月2回くらい出席していましたが、あまり上手にはなりませんでしたが、もちつき大会、お花見、阿波踊り、バスツアー、浴衣着物着付け体験会、俳句書道ワークショップなどのイベントには、ベトナム人仲間を誘って必ずとい



2019年の花見：左から3人目がタムさん

いほど参加し協会活動に貢献しました。

日本語教室に来る日の午前中は、同僚のチンさん（12月号で紹介済み）、近くのチャーさん（タイ人）を誘って我が家に来てベトナム料理やタイ料理の昼食を作り、井口さんも加わってみんなで一緒に食べたりしました。彼女は2022年6月に5年間の技能実習期間を終えて故郷のベトナム北部のタイビンに帰りました。そして1年後に赤ちゃんを出産。赤ちゃんの名前を付けて欲しいと依頼されたので、私は「美優（Miu）」という名前をつけました。Miuちゃんは今1歳半になり、11歳の姉（チップさん）とタムさんと夫の4人家族で元気に過ごしているそうです。家族の元気な写真が届きました。



タムさんの家族